

東田陽博特任教授より

コロナウイルス感染の広がるこの時期、学校が臨時休校となる中、自閉スペクトラム症の子どもたちが家庭で過ごす時、どのように過ごせばよいかを助言する論文を、イタリアの小児精神科医が発表しました。過日私はそれを査読し、その論文の足りない部分として、我々の研究の一部を追加してもらいました。

我々は自閉スペクトラム症の子どもたちが電話でコミュニケーションをとれることを研究していたので（現 国立精神研 熊崎博一先生と）、この時期こそ、親御さんが電話で話をすることを手伝ってあげれば、自閉スペクトラム症の子どもたちにとって、コミュニケーションの訓練となる良い機会と示唆しました。

この論文は、自閉スペクトラム症のお子さまのみならず、どんな子どもたちにとっても、どのように家庭で過ごせばよいかのヒントとなります。

論文のサイト：<https://doi.org/10.3390/brainsci10040207>

論文名：Handle the Autism Spectrum Condition during Coronavirus (COVID-19) *Stay at Home* Period: Ten Tips for Helping Parents and Caregivers of Young Children

著者：Antonio Narzisi (Department of Child Psychiatry and Psychopharmacology, IRCCS Stella Maris Foundation, 56018 Pisa, Italy)

Brain Sci. 2020 Apr 1;10(4). pii: E207. doi: 10.3390/brainsci10040207.